



2025年2月6日

各 位

会 社 名 ルネサス エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表執行役社長兼CEO 柴田 英利
(コード:6723、東証プライム)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2024年12月期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表した2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2023年12月期、2023年1月1日～2023年12月31日)との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想について、財務会計上の数値(IFRS)で公表してないため、増減につきましては実績値と比較しています。

記

1. 2024年12月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位:百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前期実績値(A) (2023年12月期)	1,469,415	390,766	422,173	337,311	337,086
当期実績値(B) (2024年12月期)	1,348,479	222,977	263,833	219,422	219,084
増減額(B-A)	△120,936	△167,789	△158,340	△117,889	△118,002
増減率 (%)	△8.2%	△42.9%	△37.5%	△34.9%	△35.0%

2. 差異が生じた理由

2024年12月期の売上収益は、前期比で8.2%減少し1兆3,485億円となりました。これは、主に円安効果、流通在庫拡充により自動車向け事業の売上収益が増加した一方、市場の軟化により、産業・インフラ・IoT向け事業の売上収益が減少したことによるものであります。

売上収益の減少とそれに伴う工場の稼働率の減少および製品ミックスの悪化などにより、売上総利益は減少しました。さらに研究開発費の増加などにより、営業利益も前期比で1,678億円の減少となり、親会社の所有者に帰属する当期利益も、前期比で1,180億円の減少となりました。

以上

< 本件に関する問合せ先 >

ルネサス エレクトロニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション室/Investor Relations

[報道関係]03-6773-3001(直通) [IR関係]03-6773-3002(直通)